

最終報告

第 8 期インターン生 ニックネーム：げっちゃん

1. 目的

会津の観光復興のためのお手伝いをする

→観光産業を盛り上げるためには何が必要とされているのか

東北一の観光地、会津の現状を知る

2. 研修内容

- ◆ 観光モニターツアー実施に向けての準備・CM作成のための動画撮影と素材調達先への取材

それぞれの素材調達先について情報収集をし、その事前調査をもとに取材を行う

モニターツアーは関東のメディアなどを対象に行うため、その案内状の送り先を集め、メッセージを書き添える



<取材>

- ・会津中央乳業さん（8月1日 月曜日）

原乳の殺菌から検査、生産までの流れ

牛乳の種類について

牛乳のまめ知識

風評被害の現状

会社全体の思い

工場の様子などの動画撮影



・片桐農園さん（8月3日 水曜日）

一日の作業内容

今の時期の作業内容

一年の流れ

風評被害、放射能の心配、これからについて

今年のお米について

低温保存

米作りの上でのモットー

雨の影響

農薬を使わない除草

循環型農業の大切さ

ラズベリー・大葉つみの体験



・築田さん（8月4日 木曜日）※予定



一日の流れ

朝市について

今年の作付け状況

放射能の影響

有機栽培

将来性について

～気づき～

・会津中央乳業

丁寧なご説明のもと工場の隅から隅まで見せて頂き、生産している製品の安心・安全さを直接伺う事ができた

社長をはじめとする社員の方々の誠実さが製品の安心・安全を保障していると感じた

・片桐さん

お忙しい中温かく迎えて頂き、取材にも優しく丁寧に応じて頂いた
また、自家用の野菜、果物などたくさんの種類の作物を育てていて
とても驚いた

質問にも熱心にお答えいただき、片桐さんの農業に対する真面目さ
がうかがえた

・梁田さん

明るくてパワーがあふれるというような農業への情熱が取材をして
いてとても感じられた

また、今年の農業の動向などのお話をお聞きして放射能の影響の深刻
さが垣間見えた

暑い中、撮影にも積極的に協力してくださった

◆ 山際シェフと郡山で物販手伝い

郡山の専門学校にて夏野菜カレー、ナポリタン、きゅうりの漬物の
販売のお手伝いをする

～気づき～

移動は大変だったが、初めての物販を通して人とふれあう機会がで
きたことがとても嬉しく、買っていただいたお客さんの笑顔が印象
に残った。山際シェフとも初めてお会いして、お話を交えながら楽
しく活動できた

今回は県内の物販だったため、風評被害の影響はあまり感じられな
かった

カレーに入っている野菜について聞いてくるお客さんが多かったの
で、今後、もっと知ってもらえるように進んでPRしていきたい

◆ 花の湯 滝のや 片づけ手伝い

先日の豪雨にて浸かってしまった柳津のホテルにて片づけのお手伝
いに参加



～気づき～

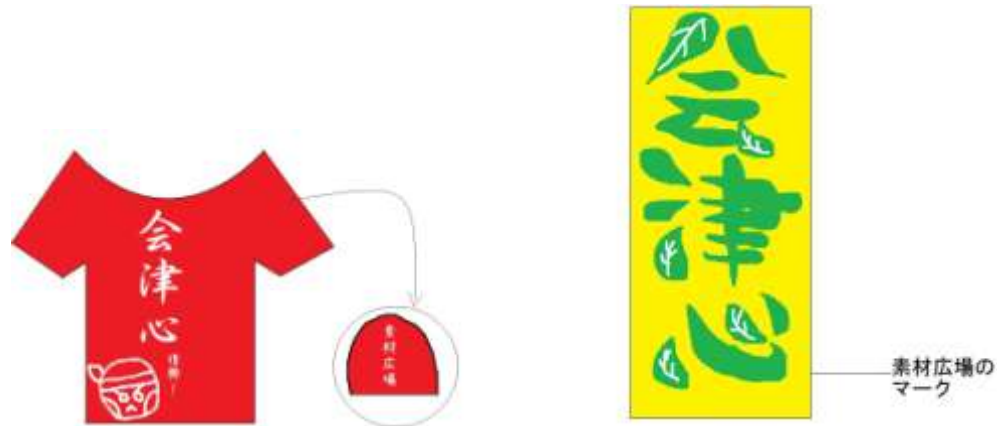
川の様子、橋の状況や周辺の建物の様子から津波の爪あとを思い出し、せつなくなつた。しかし、ホテルの方々の前向きで明るい表情がまぶしかった。皆で一丸となってひとつの作業をしたときの達成感が気持ちよかった

いろいろな人との関わりがあり、温かさを感じた

◆ 会津復興Tシャツ・のぼりデザイン

「がんばるぞ 会津」をテーマとし、素材広場が物産等で着用するTシャツ・のぼりをデザインする

図書館・書店で会津のイメージなどを頭に描き、それをもとにTシャツ・のぼりのデザインを考える



～気づき～

会津におよそ2週間滞在した後のプロジェクトだったので、この滞在期間中に自分は会津のどんなところに強い印象を受け、どのように感じたのかを振り返る良い機会となった活動だった

◆ 被災地視察（いわき市豊間）

津波の被害がとてつもなく大きかったいわき市平豊間地区の震災から5ヵ月ほどが経った今の様子を視察

震災前に豊間に住んでいた方などから聞き取り取材

→海が目の前だが前住民たちは皆、一生で津波がくるとは夢にも思わなかったそうである

よって、地震＝津波という考えがあまりなかったため、逃げ遅れる人が沢山いた

→年配の方が沢山住んでいたという点も逃げ遅れる人がでてしまった原因であった（連携があまりされていない、危機感がない）

→今後、豊間地区をどのようにするかが課題
(新たな分譲をするのか、国へ買い取ってもらうのか)

～気づき～

私の祖母が津波の被害を受け、その後自分の目で現地の様子を見たことがなかったため、今回初めて自力で現地へ行き、その有様を目に焼き付けてきた

住宅地が消え、遠くからでも海の水平線が見え、とても悲しく、津波の恐ろしさが身にしました

豊間の一日も早い問題終息と、この豊間を始めとする津波の被害が大きかった地区の課題を生かし、今後、津波が来ても被害を最小にとどめられるように対策をとる必要があると思う

3. 達成度

時間の都合上、CM完成までいけなかったことが心に残るが、取材や活動を通じて、今の会津の風評被害の現状や影響を見ることができ、観光モニターツアーの準備を通して微力ながら観光産業復興のためのお手伝いができた

また、さまざまな人との関わりあいを通じてコミュニケーションの大切さを再確認できた

4. 今後の課題

CMを完成させることができなかったのも、今後は撮影には携わることはできないが、通信を通してCMの構成を考えるなどのことはやっていきたい

また、今までにない新しいPR作戦を考えていきたい

・県内向け、県外向けのそれぞれ異なったPRについて考えることはできないか

・風評被害を払しょくするための様々なキャンペーン

今後取るべき対策など

・現地で必要としているものと観光客が求めるものの相違点などはあるか



田んぼアート （片桐さん宅にて 米沢市の写真）